

平成26・27年度 第3回学会・医会協議会 議事録

日時：平成27年12月24日（木）14：00～15：30

場所：札幌コンベンションセンター「1階 中ホール AB（実技室4）」

司会：原委員、福興委員

会長挨拶

協議事項

1. 保険医療講習会の日耳鼻学術集会としての認可について

新専門医制度においては、保険医療講習会は専門医共通講習として認められるが、そのためには日耳鼻専門医制度委員会への申請が必要であることが回答された。

2. 新専門医制度について

各会員へ既に個別の通知は行われているが、平成28年1月に開催される全国会議において専門医更新に関する更に詳しい内容の報告が行われる予定であることが回答された。また、専門医制度が新制度へ完全移行するまでは、日耳鼻が各会員の取得単位の管理を従来通り行う予定であることが回答された。

3. 在宅医療について

1) 在宅医療における耳鼻咽喉科の実情について

在宅医療に関する耳鼻咽喉科の実情に対するアンケートの全国集計の結果の報告があり、今後も学会と医会が連携して耳鼻咽喉科が在宅医療に関与する方法を模索することについて承認した。

2) 関連他科と連携し専門医の在宅医療への参加に対する評価を求めていく必要性について日本医師会を通して引き続き診療報酬の改定を求めていくことについて、承認した。

4. 医療事故調査制度に対する日耳鼻の対応について

標記に関して原委員ならびに久会長より以下の回答がなされた。医療事故調査制度では主に各県の医育機関が医師会に協力して対応することが一般的であり、日耳鼻が直接的に対応することはない。公的な機関から日耳鼻に専門医の紹介依頼があった際には、適切な会員を紹介している。

5. 小規模医療施設の医療安全対策および耳鼻咽喉科内視鏡感染制御の手引き（案）について

標記に関して作成に至った経緯ならびにその内容が紹介され、今後日耳鼻学会ホームページ上に掲載された内容に関してさらに広く意見を求めていくことを承認した。